

授業科目 栄養指導論実習			科目コード番号	
【担当教員名】 斎藤トシ子	対象学年	2	対象学科	栄養
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	45
【概要及び学習目標】				
<p><概要></p> <p>2年次と3年次の栄養指導論実習を通じて対象者に応じた栄養教育プログラム実施のために必要な技術を身につける。2年次の栄養指導論実習では、栄養アセスメント、情報の分析、問題点の把握、栄養教育プログラム作成までを実施しそれぞれの技術を修得する。</p> <p><学習目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養教育技術として大切な表現法（話し方）のポイントを身につける。 2. 食事調査及び栄養所要量算出の技術、その他の栄養アセスメント技術を身につける。 3. 健康・栄養状態、食行動、食環境等に関する情報の収集とデータの基本的な分析技術を身につける。 4. 小集団の栄養教育プログラムの作成技術を身につける。 				
回数	学習の主題	学習内容		学習方法
1	表現法（話し方）①	話し方のポイントを学び、3分間スピーチの原稿を作成する。		実習*
2	表現法（話し方）②	3分間スピーチを行い、話し方の評価をする。		同上
3	表現法（話し方）③	同上		同上（原稿提出）
4	食事調査①	各種の食事調査票を用いて自分の食事記録を行う。		同上
5	食事調査②	調査票から個人の栄養素及び食品摂取量などを算出する。		同上*
6	食事調査③	同上		同上*
7	その他の調査	その他、栄養アセスメントに関する調査を行う。		同上
8	栄養所要量の算出	生活活動調査票をもとに、自分の栄養所要量、目標摂取量を算出する。		同上
9	安静時基礎代謝量測定	安静時基礎代謝量を測定装置により測定し比較検討する。		同上
10	情報の分析①	6～9回目のデータを集め分析する。		同上*
11	情報の分析②	同上		同上*
12	情報の分析③	健康・栄養状態、食行動、食環境等に関する情報を収集し、分析したデータと比較し、個人及び集団の問題点を探る。		同上*（4～12回をまとめてレポート提出）
13	教育プログラム作成①	栄養教育の目標設定を行い小集団の教育プログラムを作成する。		同上*
14	教育プログラム作成②	同上		同上*（プログラム提出）
【評価方法】 出席状況、授業中の態度、レポート、その他提出物の内容から総合的に評価する。				
【履修上の留意点】 1) ★印の日はパソコンを使用しますのでノートパソコンを持っている学生は持参してください。 2) 栄養指導論実習は2単位（90時間）ですが、残り1単位の実習は3年前期に行います。				

【使用図書】				
教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	アクティブ栄養指導論実習	永野君子	医歯薬出版	2000年 ¥ ?
参考書	新しい栄養指導演習 第六次改定日本人の栄養所要量 5訂食品成分表	酒井映子	医歯薬出版	2000年 ¥ ?
その他 (プリント等)	必要に応じてプリントを配布			